

# 如月愛南文芸

## 篠南川柳会

重い口開けば味のある古老  
意地を張る児に試される親の知恵  
アメ玉をかんだらダメよずつとなめろ  
重箱も出番うしない今バック  
風向きが変わって今日はお茶も出ず  
同窓会くすりと趣味の数自慢  
雨の日は気がねしないで骨休め  
飴玉は小さくなるとかみ砕く  
苦か楽か余生これから風まかせ  
さわらび短歌会

迎えたる八十歳はまだ若し  
剣道の防具新しく買う  
冬枯れの庭に積れる初雪は  
清しく見えて愁ひたたふる  
届けたしキラキラ光る星空へ  
かなしみひとつうれしさひとつ  
亡き母の植ゑにしろう梅蒼き空に  
際やかに咲く匂ひほのかに  
前山に銃声響く霜の朝  
一つの命の終り切なし  
骨折をよそごととせし傲慢を  
一瞬に知る未明の災厄  
昨夜よりの雪は再び降りしきり  
小豆の煮ゆる匂いの著し  
新春の戸外はいちめん銀世界  
子等も帰れぬコロナ禍の今

前田 昭夫  
前田 充  
千代子  
もつちゃん  
安子  
ちずる  
みち子  
さつき  
木本  
すみ子  
保美  
すみ子  
保美  
澤近 正弘  
藤井 擴  
野崎 幸子  
前田 知子  
岩村千代子  
水野美代子  
松本マス子  
扇野八代生

菊川俳句会  
厨よりコトコトと音のして  
朝餉を作る夫の気配す  
便り無く病きづかう春遅し  
東風の君居場所に決めた夜勤明け  
福寿草娘は母の顔となり  
初雪やプラグを替えて聞く鼓動  
おそろいの消しゴム冬のせいくらべ  
焦つても何も変わらぬ年の暮れ  
冬の蝶手紙をのせてあの人へ  
歌留多取りかわいい小さな口ゲンカ  
シベリアの枯野の土に祖父の痕

河上 明美  
中川 一喜  
鶴川 裕子  
安岡留美子  
浅野勇一郎  
兵頭 嘉寛  
海音 靖樹  
和田 靖樹

## はじめまして。赤ちゃん。

12月受け付け分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

## ご冥福をお祈りします。

12月受け付け分(敬称略)

地区名	亡くなった方	満年齢
-----	--------	-----

※上記情報は、広報紙掲載に対して、ご家族等に同意を頂いております。